

＝令和2年度竜王小学校だより＝

竜の子



令和3年3月24日

No. 51

校長 小尾 一彦

卒業証書授与式が行われました

3月19日(金)に卒業式が行われました。新型コロナウイルス感染症予防のため来賓と4年生は参加せず、5年生のみの出席となりましたが、一生に一度の小学校の卒業式が、このような状況の中でも無事に行われたことに、大きな喜びを感じずにはいられません。会場も昨年度と同じように、保護者の皆様により子どもたちを近くで見ただけと、対面式で行いました。

開式からの儀式的な部分である卒業証書授与、そして式辞・告辞・祝辞は厳粛に、最後の授業である呼びかけや合唱を在校生とともに、作り上げていくことができました。6年生は呼びかけで6年間の学校生活の振り返りと先生方・保護者への感謝を言葉にしていました。合唱は「絆」「道」「旅立ちの日に」の3曲を披露しました。3人の担任の指揮で、想いが伝わる素晴らしい合唱でした。そして、6年生と5年生の合同合唱では、オリジナルの「明日へ」を合唱しました。本当に参加者全員に感動を与えてくれた素晴らしい卒業式でした。卒業生の皆さんは、それぞれの中学校に進学しても、竜王小学校の卒業生としての自覚と誇りを持って、着実に歩み続けてほしいと願っています。



■ 想いを込めた教室

6年生が巣立った教室には、卒業生たちのメッセージが残されていました。あと2週間もすると新しい教室に生まれ変わり、また子どもたちの声が聞こえてくることでしょう。



式辞 はなむけの言葉（令和二年度 竜王小学校卒業式）

校庭の桜の花も咲き始め、春の息吹が感じられるこの佳き日。

八十二名の六年生のみなさん、卒業おめでとうございます。

思いもよらない社会状況の中でも、このように卒業証書授与式が開催できましたことに、大きな喜びを感じずにはられません。

保護者のみな様におかれましては、これまでの子育てのご苦労に、敬意を申し上げますとともに、お子様のご卒業に、心よりお祝いを申し上げます。また、本校の教育活動のために、これまでお寄せいただいた温かいご理解とご協力に、厚く御礼申し上げます。

卒業生のみなさんに、いつも話をすることがあります。それは卒業証書のことです。先ほど、みなさんが手にした卒業証書は、小学校六年間の学びがすべて終了したという、証（あかし）です。その卒業証書には、同級生と違う所が三カ所あります。

一つ目は、もちろんあなたの名前です。その名前は誰が付けたのですか。名前にはどんな意味があるのですか。お父さんやお母さんに聞いたことはありますか。きっと、あなたへの限りない愛情と成長していくあなたへの想いを込めた名前だと思います。自分の名前を、誇りに思ってください。

二つ目は、あなたが生まれた日です。あなたは覚えてはいないと思いますが、お父さんお母さんは生まれた日のことをしっかり覚えています。あなたが生まれたことを、家族のみんなはどれほど喜んだことか。あなたを心から愛し、大切に思いながら、今日まで育ててきたのです。あなたは、家族の宝物なのです。今日までのことを振り返ってみてください。風邪で熱が出た時、心配してくれたのは誰ですか。入学式のとき、ランドセルを用意してくれたのは誰ですか。朝、なかなか起きられない時、大きな声で起こしてくれたのは誰ですか。困ったとき、悲しいとき、そばにいてくれたのは誰ですか。うれしいとき、いっしょに喜んでくれたのは誰ですか。一番大切な人は、いちばん身近にいるのです。

三つ目は、最初にするされている番号です。その番号はいつから続いているのでしょうか。それは、およそ百三十年前の卒業生から続いている番号で卒業生の人数を表しています。その番号こそが、竜王小学校の歴史ともいえます。そして、その番号はあなただけの番号です。みなさんは、その歴史の一ページに名を刻むことができたのです。みなさんも伝統ある竜王小学校の誇りと責任を持ち続けてください。

そして、六年生としての一年間。みなさんが望んでいた一年間とは違っていたと思います。当たり前が当たり前でない状況の中でも、「今年だからできること、今だからできることをやろう」そんな思いがいつも伝わってきました。運動会の組立体操。これまでの伝統的な技ができない中で、決してあきらめずに取り組む姿は、今でも焼き付いています。あのときの感動と涙は忘れることができません。修学旅行、陸上記録会、児童会活動、そして、今年だからという思いが伝わった全校制作。みなさんの直向きさ、仲間を信じ、協力する姿、そして、心をつなげて取り組む姿は、本当に立派でした。

みなさんを表す言葉、それは「全力」「感動」「絆」です。

たくさん合唱もしましたね。みなさんの心と同じように澄んで響くハーモニーは最高でした。わたしにとって、みなさんと合唱ができた時間は、忘れられません。先日いただいた感謝状と「あなたに会えて」の歌声は一生の宝となりました。

みなさんが学んだ小学校での六年間は、一日一日の積み重ねがあったからこそ、今のみなさんがいるのだと思います。

そして、この成長を支えて来てくれたのが、みなさんのご家族であり、地域の方々であり、学校の先生方であり、みなさんの仲間たちだと思います。人は決して一人では生きていくことはできません。いろいろな人と関わり、いろいろな支えがあってこそ、今のみなさんがいることを決して忘れないようにしてください。その感謝の気持ちは、いつまでも大切にしてほしいと思います。そして、「ありがとう」という言葉を素直に言える人になってください。

さあ、卒業生のみなさん、みなさんの前には、さまざまな可能性を秘めた未来が広がっています。自分の夢に向かって、勇気を持ってしっかりと一歩を踏み出してください。その勇気を支えてくれるは、みなさんが過ごした竜王小学校での六年間であり、共に学んだ仲間であり、応援してくれた、たくさんの人たちです。

これからの出会いを大切に、中学校という次のステージでのみなさんのさらなる成長を祈りながら、はなむけの言葉といたします。

令和三年三月十九日

甲斐市立竜王小学校 校長 小尾 一彦